

一宮市SDGs取組事例集

～高校生から見た地元企業・団体の取組～



一宮市 × SDGs



はじめに

SDGsの達成には、特に経済活動の中心である企業・団体の役割が非常に重要です。そこで、持続可能な社会の構築に向け、一宮市で積極的にSDGsに取り組む企業・団体を紹介する事例集を作製しました。

作製にあたっては、今後の社会の担い手となる高校生が、一宮市SDGsパートナー制度に登録されている地元企業・団体の取組を取材し、一宮市を持続可能なまちへと発展させるために日々努力している大人達の熱意をまとめました。

本冊子が一宮市に関わる皆様の取組の参考となれば幸いです。

SDGs (エスディー・ジーズ) とは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

 1 貧困をなくそう	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 13 気候変動に 具体的な対策を
 2 飢餓をゼロに	 8 働きがいも 経済成長も	 14 海の豊かさを 守ろう
 3 すべての人に 健康と福祉を	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	 15 陸の豊かさも 守ろう
 4 質の高い教育を みんなに	 10 人や国の不平等を なくそう	 16 平和と公正を すべての人に
 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 11 住み続けられる まちづくりを	 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 12 つくる責任 つかう責任	

2015年の国連サミットにて、「**2030年までの達成を目指した世界共通の目標をつくり、環境、社会、経済の調和した世界にしていこう!**」という考えのもと、生まれたのが**SDGs (持続可能な開発目標)**です。

持続可能な開発目標というテーマは、様々な国際会議で話し合われてきましたが、これまでと異なり、SDGsは国やNGOばかりではなく、**企業にも協力を求め**、一緒に達成を目指しています。

Sustainable Development Goals
【持続可能な】 【開発】 【目標】

SDGsの活用によって広がる可能性

SDGsは、様々な分野の課題が網羅されており、これらの課題への対応は、**経営リスクを回避**するとともに、**イメージ向上や信頼獲得**にも繋がります。

また、SDGsに取り組むことで、**様々な企業・団体との交流**が生まれ、新たな事業機会を創出することができ、将来の社会のニーズも満たすような**持続可能な企業・団体へと発展するきっかけ**となります。

企業・団体一覧

- 1 株式会社 ILファーマパッケージング
- 2 株式会社 Askalカバン工房
- 3 いちい信用金庫
- 4 医療法人 健口会 一宮荻安賀歯科 子ども歯科
- 5 糸喜株式会社
- 6 NPO法人 おさんぽや
- 7 花王グループカスタマーマーケティング株式会社 中部支社
- 8 KDDI株式会社
- 9 株式会社 澤田製作所
- 10 サンライズ防災株式会社
- 11 株式会社 シーエーシ
- 12 株式会社 JAM
- 13 株式会社 大京
- 14 たなばたハートクラブ
- 15 株式会社 T・I・A
- 16 T・Sトレーディング株式会社
- 17 株式会社 ティエムエフ
- 18 東陽住建株式会社
- 19 Huney Hunt株式会社
- 20 POLA THE BEAUTY ASTY一宮店
- 21 水政建設株式会社
- 22 株式会社 UT工業

※五十音順

1. 関わる人たちの幸せを実現する

株式会社 ILファーマ パッケージング



【所在地】一宮市千秋町佐野字清水10

【TEL】0586-76-1612

【URL】https://www.group-il.com/group/pharma_packaging/

【事業内容】薬を安心して服用できるように、様々な医薬品のラベルの製作や貼り付けを行っています。

【使用方法】薬目を手にとり、お顔にやさしくなじませてください。お風呂上りに、マッサージするより効果的です。【ご使用上の注意】○お顔に異常が生じていないかよく注意して使用してください。お顔に合わないときは、ご使用をおやめください。腫やはれもの、しっしん等、異常のある部位にはお顔に近づけないでください。○使用中、または使用後に直射日光があたって、赤み、はれ、かゆみ、剥離、色抜け（白班等）や腫れ等の異常があらわれた場合は、使用を中止し、皮膚科専門医等に相談されることをおすすめします。そのまま使用を続けると、症状を悪化させることがあります。○目に入ったときは、直ぐに水又はぬるま湯で洗い流してください。○極度に高温・多湿または低温の場所、直射

目薬の成分などが記載されているラベル（細かい字だが見やすい）

大事にしている
SDGsのゴール



社会の問題に対してできること

ILファーマパッケージングは、主に医薬品のラベルを製造している企業です。目薬などに使う細かい文字を印刷したラベルや、点滴に使う輸液バックに移し替えずにそのまま吊り下げて使用できるハンガーラベルなどを製造しています。どの製品も無駄なごみや手間を減らす画期的な工夫が凝らされています。

SDGsの目標達成に向けた具体的な取組みの一つが、IWATA GREEN SYSTEM（イワタグリーンシステム）です。ILグループ内でのラベル製造時に発生した廃棄物（剥離紙など）を固形燃料へリサイクル、またILグループが取引先に販売したラベルに使用されている剥離紙を回収して、ペーパータオルやトイレットロールに再生し、取引先の工場内で再び購入、使用してもらいリサイクルシステムです。社内で発生した廃棄物だけでなく、取引先へ販売したラベルの剥離紙もリサイクルするというシステムとなります。

2030年に向けた意気込み

これまでは社内でのSDGs浸透をテーマに活動して来ましたが、今後は社外でのSDGs活動にも力を入れたいと思っております。

ILファーマパッケージングの工場内でもIWATA GREEN SYSTEMでリサイクルされたペーパータオル・トイレットロールを使用し、SDGsの意識改革につなげています。

社員へのサポート

ILグループでは自然環境だけでなく社員の働く環境にも力を入れています。具体的には、ラベルを製造する場所は異物が入り込まないようにするために窓がないので、ラベル製造をしている社員は外を見ることができず、ストレスが溜まります。そのため食堂は多くの緑が見えるようになっており、社員がリラックスできるような環境が作られています。



一宮南高等学校2年8組

ハンガーラベルなどの製品を見て、様々な人に対して優しくなっていることがわかり、今後このような製品がもっと増えてほしいと思いました。

2. すべての子どもたちとご家族へ笑顔と新しい価値観をお届け

株式会社 Askalカバン工房

【所在地】一宮市明地字西七丁原32-1

【TEL】0586-58-4531

【URL】<https://askal.jp>

【事業内容】

- ・ランドセルリメイク
- ・革製品の製造・販売
- ・ノベルティ商品の製造・販売



ランドセルリメイクの様子

大事にしている
SDGsのゴール



ランドセルリメイクSDGs

Askalカバン工房のSDGsに関する取組みは、使い終わったランドセルをリメイク（アップサイクル）して財布やキーケースなどにする事です。アップサイクルとは、捨てられてしまうモノに新たな付加価値を持たせ、別の新しい製品に生まれ変わらせることです。また、女性を多く採用することによってジェンダー平等を実現しています。現在ではなんと、従業員の95%以上が女性です。さらに、ランドセルリメイクをはじめとしたさまざまなサービスの提供・技術の向上など、生産性の向上に努めています。2020年から環境を意識し、太陽光パネルも取り入れました。

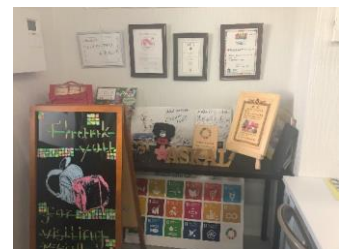
大学との共同研究でランドセルリメイクを文化にするための方法、レザー商品全般に関する新商品の開発、SDGsの対外的なアピール方法についてに研究を行っています。

ランドセルリメイクを学生に体験してもらうことで学生目線で思い出を形にする、リメイクの良さを伝える活動を実施しています。

今後の課題

SDGsへの取組みを進めるにあたり、ランドセルリメイクで裁断するとき失敗は絶対に許されないという点や、余った部分は産業廃

棄物になってしまう点、さらにお客様と対面で話すわけではないため、より正確に希望をくみ取ることが改善点です。また、現在は社員による手作業が多いため、最新の機械やAIを導入し、作業の効率化を進めています。



2030年に向けた意気込み

「ランドセルリメイクにより、ランドセルに新たな価値観を提供する」、「女性の活躍できる職場の提供」、「地元愛知県一宮市をランドセルリメイクの産地へ」を目指し、ランドセルリメイク業を日本全国に浸透させていきます。

一宮南高等学校2年4組



今回の取材を通して、Askalカバン工房の皆さんのランドセルリメイクを広めようという強い気持ちが伝わってきたし、お客様だけでなく環境のこともしっかり考えてお仕事をされていることを知り素晴らしいなと思いました。

3. 地域との繋がりを深める信用金庫

いちい信用金庫



【所在地】一宮市若竹3-2-2
【TEL】0586-75-6200
【URL】<https://www.shinkin.co.jp/ichii/index.html>

【事業内容】

預金や振り込み、融資といった金融サービスを提供するほか、保険などの募集も行っています。

大事にしているSDGsのゴール



いちい信用金庫は、多くのSDGsに取り組んでおり、その多くの活動が「地域金融機関」として、地域に寄り添う形で行っています。



活動内容1【ホタルの庭】

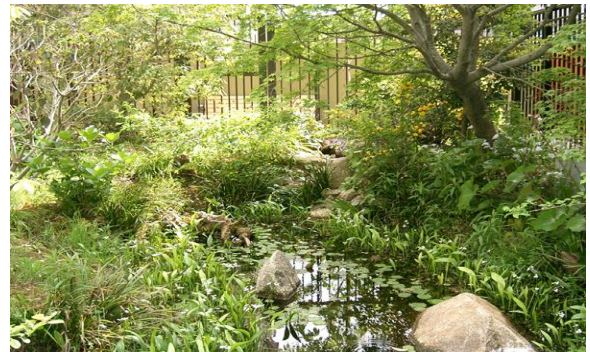
環境保全活動として、「ホタルの庭」という取り組みを行っています。4月にホタルの幼虫を庭に放し、6月に鑑賞会を実施し、地域の人に見学してもらっています。

この活動は、「自然に触れ合う機会の少ない一宮市内で過ごしている人たちに少しでも自然を感じてもらおう」ため、市民の生活を豊かにすることを目的に行っています。

子どもから大人まで多くの方々に環境問題に関心をお持ちいただくことを願って、ホタルを卵から成虫になるまで1年をかけて大切に育てています。

一宮商業高等学校2年「コマーシャルデザイン」11班

今回の取材を通して、いちい信用金庫様は、地域との結び付きが強いということを実感しました。一宮商業高校も地域との繋がりを大切にしているため、より活躍していちい信用金庫様のように多くの人の役に立とうと努めていきます。



(画像参照：<https://www.shinkin.co.jp/ichii/firefly/firefly.htm>)

活動内容2【金融教育】

金融教育の面でも地域と関わりを深めています。今年の7月下旬に、いちい信用金庫本店にて、「夏休み親子で学ぶ金融教室」が4年ぶりに開催されました。この企画は、小学生を対象としており、保護者同伴で参加できます。紙幣の数え方や金融クイズなどを行い、楽しくお金の使い方を学ぶことで、子どもの成長を促します。

他にも、高校生の取材の受け入れをしており、普段知ることのない信用金庫の内側や、金融機関についての教養を高め、将来を担う高校生たちを支えています。

いちい信用金庫は、このようなSDGsの活動をいくつも行うことで地域に寄り添う形で市民の生活を豊かにしています。また、信用金庫としての役割も十分に果たし、子育て支援など家庭に寄り添った取り組みも行っています。

2030年に向けた意気込み

今まで通りのことを行っていき、その中で新たに挑戦できることを見つけ、これからも「地域金融機関」として皆様に寄り添っていきます。

4. お口と地球の健康を守る

医療法人 健口会 一宮苅安賀歯科 こども歯科

【所在地】一宮市苅安賀1-18-11
【TEL】0586-85-7973
【URL】<https://kariyasuka-shika.jp>



大事にしている
SDGsのゴール



誰もが通しやすい医院

こちらの歯科医院では、お口の健康増進をサポートし社会貢献をしています。

また、通しやすい環境のために、バリアフリー設計や、キッズルームを完備した託児サービス、訪問診療を行っています。そのため、子ども連れの方や高齢者の方々も安心して通えます。バリアフリーでは、車いすのまま治療出来たり、院内の段差をなくすなど、小さな子どもや高齢者の方などの安全を確保しています。

託児サービスでは、キッズルームにスタッフが一人おり、保護者は安心して治療を受けることができます。キッズルームを利用しない、またはしたくない子どもは、キッズスペースを完備した治療室が利用でき、親子で一緒にいることができます。

訪問診療では、身体的・精神的な障害がある方、歯科がない病院に入院の方、お一人での通院が困難の方などを対象に行っています。

また、診察券をデジタル化して資源を出来



るだけ減らすようにしたり、太陽光パネルを導入したりするなどのSDGsの取組みも行っています。

今後の課題

歯科医院で今行っているSDGsの取組みの継続、そして今後社会をよくしていくために、患者様のために考えられる人、社会のために意見を出し合える人材を集めることが今後の課題です。

2030年に向けた意気込み

あと7年で自分たちに何ができるか、できることをやるということです。同じような思いの方が増えていけば、一人でやるよりも追い風に乗って、よりよい社会になればいいと願っています。

一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」7班

今回のインタビューを通して医院で行っている様々なSDGsの取組みを知ることができました。また、一つの企業だけでよい社会をつくっていくのは難しいことも分かったので他の企業と連携することが大切だと思いました。



5. サステナブルな繊維へ

糸喜株式会社

【所在地】一宮市本町1-5-3
【TEL】0586-71-6116
【URL】https://itokikabu.com



【事業内容】
インテリアを中心とした生地企画販売・
擦糸企画販売や、海外から輸入してきた原糸
の卸売りをしています。

大事にしている
SDGsのゴール



繊維業者としてのSDGs

糸喜で主に取り扱っているのは綿とレーヨンで、8割がインドネシア・中国・タイなどからの輸入によるものです。

糸喜は現在、オーガニックコットンを積極的に取り入れる活動や、イベント会場でペットボトルを回収し、再生ポリエステル繊維によみがえらせ、それを婦人服の糸に使用する取組みを行っています。

浅井社長へのインタビュー

- Q.1 この会社で取り組もうとしていることは何ですか。
- A.1 海外からの輸入量をさらに増やし海外との連携を強め、生き残りを図ります。
- Q.2 この会社ならではの悩みは。
- A.2 繊維業全体がそうですが、若い担い手が入ってこないですし、特に女性は結婚を機に辞められる方が多いです。
- Q.3 SDGsの取組みについて、思いを聞かせてください。
- A.3 社会の流れとして、SDGs抜きではビジネスが行えなくなってきたということで取組みはじめ、これまで以上に取



引先との協力を深め世界中の消費者の心豊かな生活づくりに貢献していきたいという思いがあります。

しかし、SDGsの商品はまだ認知度が低く、輸入された糸の方が8割を占めているため、SDGsの商品を今後たくさんの方に知ってもらえればと思います。

2030年に向けた意気込み

他会社との競争に勝つため、今ある仕事を継続しつつ、海外製品輸入量の上昇を目指して海外とこれからもしっかりと連携をとっていきたくと考えています。

SDGsの終着点である2030年に向けては、過去の資産を有効に使いつつ今後も繊維業を営んでいきます。



一宮商業高等学校2年「コマーシャルデザイン」5班

繊維業はその地域内だけとしかあまり繋がりが無いと思っていたので、世界中との繋がりがあると知って驚きました。また、若手不足・SNSを活用した拡散が不十分で売上が伸びにくいことも知りました。

6. 未来を担う子どもたちの育成

NPO法人 おさんぽや

【所在地】一宮市丹羽字井端1226-91
【URL】https://peraichi.com/landing_pages/view/osanpoya/



大事にしている
SDGsのゴール



子育てでまちづくりに貢献

おさんぽやは、SDGsの根本である子育てに注目し、母親が充実した子育てを行えるようなサポートや、自然環境の中で保育園や幼稚園では学べないことを一緒に学んでいく場所を提供しています。

例えば、キャンプファイヤー・火起こし体験・プールなどでは、子どもたちが怪我などの危険な場面に遭うことあるそうです。スタッフの方に「大丈夫なんですか？」とお聞きしたところ、「実際に痛みや危険を知ること、次に遊んだ時に自分たちで考えて行動できる。これを保育園や幼稚園では事前に危ないと知らせてしまい、体感することができずに痛みや危険を知らないまま大人になってしまう。」とおっしゃっており、自分で考えて行動できるようにサポートしているそうです。



SDGsの中には、環境の持続可能性確保に関するゴールがあります。この目標を実現するためには、自然が身近なものでかけがえのないものであることを知ることが重要だと考えています。

おさんぽやは、大野極楽寺公園と連携し、豊かな自然環境に触れ合い、環境について考えることができる取り組みを行っています。

環境教育とSDGsの取り組み

温暖化や自然破壊など環境の悪化が深刻化し、環境問題がクローズアップされるようになりました。



2030年に向けた意気込み

「子育て」「自然保護」という仕事に強い責任感を持ち、「未来の社会」について「自分で考える環境」を作り、一宮市の未来をよりよくします！

一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」12班

私たちは実際に伺い、何を大切に子どもたちと触れ合っているのかを今回の取材を通して学ぶことができました。

7. きれいをこころに未来に

花王グループカスタマー マーケティング株式会社 中部支社

【所在地】名古屋市中区錦1-8-11
DPスクエア錦12F



【URL】 <https://www.kao.com/jp/>

【事業内容】 コンシューマープロダクツ事業

大事にしている
SDGsのゴール



自然と調和する未来を目指して

花王は、1887年の創業から今まで、「ハイジーン&リビングケア」・「ヘルス&ビューティケア」・「ライフケア」・「化粧品」の4つの幅広い事業分野を展開し、多くの人々の豊かな生活を支えてきました。

近年、深刻さを増す環境問題や高齢化、パンデミック、多様化の進展という4つの社会課題に目を向けている花王は、その事業領域の中でさまざまな取組みを進めてきました。

その中でも、環境問題を重視している花王は「Kirei Lifestyle」をキーワードに「つくる責任」を果たしています。

例えば、洗濯用洗剤一つでも様々なことに気を配っています。まず、原材料にはRSPO認証パーム油という持続可能な生産が行われていると認められたパーム油を使用しています。

「作る」過程では、工場廃水をきれいに流す、使うときを見越して少量の水や少ない電力で洗濯できるような工夫をするなど、節水・節電に繋がる製品のコンパクト化に取り組んでいます。また、使用するプラスチックを減らすために、詰め替え製品の開発も徹底しています。さらに、「運ぶ」過程では、二酸化炭素の排出削減のために運送手段をトラックから鉄道や船にしたり、運搬用のダンボールを薄くしたりするなど、細かいところまで配慮しています。

同じ想いを持った団体と連携

花王は、SDGsを進め、達成するために、多様な企業や団体と連携・協力しています。製品を「正しく」つかうことを地域の人々が続けるという「つかう責任」はもちろん、パートナー企業、地方自治体との連携、さらに、大規模商業施設にリサイクルのためのごみ回収ボックスを設置するなど幅広い連携がなされています。



2030年に向けた意気込み

花王は、未来の命を守り、グローバルで存在価値ある企業になること、そして豊かな共生世界の実現をめざしています。

一宮南高等学校2年6組

今回の取材を通して、環境に対する取組みを知ることができ、特に、「つくる責任」を重視して取り組んでいることに大変驚きました。

8. お客様の期待を超える感動を

KDDI株式会社

【所在地】名古屋市西区名駅2-27-8

【TEL】052-747-8071

【URL】<https://www.kddi.com/>

【事業内容】

固定と移動両方の通信を担う通信事業者。最近では、高速モバイルインターネットサービスなど新たな事業を展開している。



災害発生時等に活用される「車載型基地局」

大事にしている
SDGsのゴール



Sustainable actionを通して

KDDIの目指す姿の一つに、「社会の持続的な成長に貢献する会社」というものがあります。これはSDGsの取組みが推進される前からのもので、KDDI独自の考えです。SDGsの取組みが盛んになってからは、この目指す姿をSDGsの目標に重ねているそうです。具体的な取組みに「sustainable action」というものがあり、3つの「つなぐ」をもとにSDGsの達成を目指しています。

1つ目の「命をつなぐ」では、災害対策・通信基盤の強靱化や、地球環境の保全を行っています。具体的には、災害があった際には、電波を供給できる車（車載型基地局）を現地に運んだり、蓄電池や充電器なども運んだりします。2つ目の「暮らしをつなぐ」では、都市部や地方の持続的発展、途上国の基盤整備などを行っています。また、キッズニアで職場体験を実施したり、スマホ・ケータイ安全教室などを開催しています。外部の活動だけでなく、社員の勉強会も開くそうです。3つ目の「心をつなぐ」では、安心して豊かなデジタル社会の構築などを行っています。花火大会などのイベント対策では、災害用とは別の車載型基地局を使っています。

様々な社会貢献活動を実施

「KDDIチャレンジド」は、障害者の方の雇

用を促進するために設立された子会社で、社員の約70%が障害者です。この会社では、使用済みの携帯電話を手分解して、リサイクルに取り組んでいます。マテリアルリサイクル率99.8%を達成しています。

様々な企業・団体と連携

KDDIでは、他の企業・団体との「つながり」を非常に重視しています。たとえば、通信事業においては、他の通信事業者と基地局の整備を協力して行っています。また、災害対策では、自衛隊などと幅広く連携しています。KDDIは、様々な企業活動で「つなぐ」ことを重視しています。



2030年に向けた意気込み

もともと2050年の「CO₂排出量実質ゼロ」の目標を2030年に前倒しして、省電力化などの取組みをしています。

一宮南高等学校2年7組

今回の取材では、KDDIは、「つなぐ」を大切にしていることをよく感じました。同時に、温かい雰囲気を感じました。

9. 子どもたちの未来のために教育や豊かなまちづくりを

株式会社 澤田製作所

【所在地】一宮市浅井町大野字中土山261

【TEL】0586-51-1092

【URL】<https://sawada-ss.co.jp/>

【事業内容】

全国各地からのご依頼・ご要望に応え、様々な場所でドローンを使い調査や撮影業務を行っています。



所有している
ドローンの一つ

大事にしている
SDGsのゴール



ドローンを使ったSDGs

澤田製作所は、ドローンを使って様々なことをしている企業です。例えば、ドローンを使って、農薬散布・測量・インフラ整備・動物の保護・作物のAIなどをやっています。具体的には、農業では上空から水はけの違いなどによる作物の発育の違いなどを調べ、作業を効率化しています。

他にも、ドローン教室・学校を通じて、プログラミング的思考を鍛えたり、ドローンの操縦を学ぶ教室を設けて、人材育成に取り組んだりしています。この目的は、現在急速に成長を遂げているドローン業界に興味を持ってもらうことと、人手が必要になっていくと予想されるこの業界に貢献するためです。

澤田製作所は、動植物の密猟及び保護区である森林の違法伐採に関し、対処の強化が課題となっていることについて、違法取引を撲滅するためにドローンを活用し、市町村の能力向上を図るなど、対策を模索中です。

2030年に向けた意気込み

ドローンが今よりもっと身近になっている時代に向けて、子どもや10代の若者に対してドローンを通して質の高い教育を実施することで社会貢献したいと考えております。

市との協定

澤田製作所は、地方自治体と協定を結んでいます。岐阜県海津市との連携協定では、消防活動・観光・産業・インフラの点検・調査・教育・まちづくり・スポーツ・実証実験などを手掛けています。消防活動としての具体的な例として、火災が起きた際、消防士の方が安全に時間を短縮して人の命を救えるように、ドローンで被害状況の把握と安全なルートへの誘導ができるように訓練しています。他にも、「山岳で遭難した」「姿は見えないがどこかから声が聞こえる」「河川で流されてしまった」などの通報があった際にすぐに現場に向かい調査を進められるように訓練をしています。



一宮南高等学校2年7・8組

今回の取材を通して、ドローンを活用して救助活動をするなど、人のためになる取り組みが進んでいることを知り大変驚きました。渓谷に落ちた人を救助する際に、ドローンを使って確かめるといった話が興味深かったです。

10. 身近にあるものが・・・に

サンライズ防災株式会社

【所在地】一宮市明地字江端4-2

【TEL】0586-58-7828

【URL】<http://www.sunrise-bousai.co.jp>



【事業内容】

消防・防災設備設置工事、及び保守点検 消防用具・消火器・防災用品の販売 廃棄消火器の処理 廃棄消防ホースのリサイクル

大事にしているSDGsのゴール



消防ホースを別の形に

サンライズ防災は、身近にある消火器や消防ホースの設置、保守点検、廃棄消防ホースのリユースグッズの販売などの活動を行っています。SDGsに該当する取組みとして廃棄消防ホースを別の形に生まれ変わらせ再利用しています。その方法とは、なんと消防ホースをペンケースやポーチ、バック、ペン立てなどの実用品に変えているのです。実は、毎年多くの消防ホースが、リサイクルされず捨てられているのが現状です。しかし、サンライズ防災では、2016年に再利用を始めてから、現在までに約5トンの廃棄物を削減しました。このように、捨てられるはずのものにちょっとした工夫をするだけで、環境保全への第一歩に繋がっています。

消防ホースがなんと・・・に

サンライズ防災は消防ホースをバックやペンケースに再利用しているだけでなく、東山動植物園の人気ゴリラ「シャバーニ」のテントにも活用されています。他にも、チンパンジーの日除けや雨除けなど役割をするテント



にも変えています。このように、消防ホースは人が使う物だけでなく、動物が使う物にも変えられており、いろいろな工夫がされています。

課題と思い

サンライズ防災は、テレビ番組「まるっと！」や「さらさらサラダ」で紹介されたことがあります。また、マルシェでの対面販売、ネット販売も行っています。しかし、まだ世間にはあまり知られていないことが今の課題だそうです。「この記事を見た人だけでもいいので、ぜひサンライズ防災のウェブサイトを見てくれるとうれしいです」とのことでした。

2030年に向けた意気込み

今はまだ世間にあまり知られてない活動ですが、会社の理念「言われたことはなるべく断らない」を忘れずに、お客様が喜んでくれることにやりがいを持って、これからもがんばってまいります。

一宮南高等学校2年3組



今回の取材を通して、身近にある消防ホースがいろいろなものに変えられていて、何気ないものに目を向けることで、何かの役に立つかもしれないと感じました。

11. 人・街・暮らしの情報ステーション

株式会社 シーエーシ



【所在地】一宮市若竹1-5-15

【TEL】0586-77-6000

【URL】<https://www.chunichi-cac.com>

【事業内容】

経営論理を尊重した経営と企業活動を通じた地域社会への奉仕により、お客様に価値のある商品とサービスを提供します。



大事にしている
SDGsのゴール



答えのない問題を解決するために

シーエーシでは、SDGsの取組みであるジェンダー平等を雇用において行っています。

女性スタッフが全従業員の3分の2を占めており、主に、朝刊や夕刊、折り込みチラシの配達や集金などを行っています。性別における差別をせずと同じ仕事で同じ給料が支払われることが重要であり、そのような環境づくりをしています。

また、シーエーシでは、子育てで母親が職場を離れてしまうという課題に対し、会社内に子育てグループを作り、働きやすい職場環境を整えました。

去年は、販売店の移設に合わせてママン`s ショップ&カフェを併設しました。そのカフェでは、子育てグループの母親らがアイデアを出し、運営をしています。こうした積み重ねで、女性が働きやすい職場を完成させました。答えのない課題を解決させるために、積極的に高校生などの若い声に耳を傾け、新しい意見として企業運営に生かしています。

これからの新聞業界

これからの新聞業界は、需要が落ち込むことが予想されます。

シーエーシでも、新しい新聞の形が重要で

あるとしています。

また、デジタル化とオンラインメディアの拡大、そして紙媒体の需要の減少が予想される中、AI技術も新聞の制作や配信に活用されて、より個別化されたコンテンツの提供が期待されています。



2030年に向けた意気込み

新しい新聞の魅力を発見できるようにグローバルに物を考える人や問題に気づくことができる人材を育成し、信頼され信用される会社を運営します。

一宮南高等学校2年1組

今回の取材を通して、新聞販売店の業務を知ることができ、一宮の未来のために様々な取組が進んでいることに大変驚きました。

12. 地域とスポーツの架け橋に

株式会社 JAM

【所在地】一宮市浅野字大島12
【TEL】0586-64-8100
【URL】<https://shootinghousejam.wixsite.com/website>



大事にしている
SDGsのゴール



会社概要

JAMは、世界初・日本初のバスケシューティング施設で2021年の春にオープンしました。一回300円で4分間利用でき、マシンからのパスの強さや間隔を調節できます。他にも空き工場や空き家を有効活用したり、クリニックやイベントを多く開催したりして、スポーツの楽しみを広めています。

また、ここではただプレーできるだけでなく、プロのバスケ選手から直接指導してもらうことができます。ここでは小さい子どもから高齢者まで、世代を超えて交流することができます。健康づくりやスポーツ離れの解消に繋がります。また指導の合間に受付に従事するな

2030年に向けた意気込み

オープンの頃から手伝ってくださっている方々や来てくださるお客様などの繋がりが、2030年になっても変わらず繋がっていくこと、新たな繋がりを築いていける一期一会を大切にできたらいいなと思います。そのような方々との繋がりが、株式会社 JAMを助けてくれたり広めてくれたりしているので、少しでも繋がりが広がっていけばと思います。

どして、プロバスケ選手のセカンドキャリア形成にもなります。

地元の方にも愛されている！

近所の子どもたちや、思春期の子どもたちの悩みをオーナーの伊藤さんが親身になって相談に乗り、多くの子どもたちを励まし支えています。また、保護者からの信頼もあり、安心して子ども達を預けているという声も寄せられるそうです。

バスケだけでなく、伊藤さんとの交流が信頼となり、皆に愛される施設となっています。



一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」2班

バスケ以外にも子どもたちの相談に乗ってあげたり、訪れた人すべてが笑顔になって帰っていくのを見て、とても温かく素敵な場所だなと感じました。SDGsに取り組む上で「人と人との繋がりを大切にしていきたい」という意気込みを聞き、SDGsを達成するだけでなく

その後のことまで見据えており、私たちも将来を見据えて行動していけるようになるうと思いました。



13. 地球にやさしい住まいづくり

株式会社 大京

【所在地】 名古屋市中区錦2-9-29
ORE 名古屋伏見ビル

【TEL】 052-728-0701

【URL】 <https://www.daikyo.co.jp>

【事業内容】

マンション事業を核とした街づくりにつながる地域の再開発事業等にも積極的に参加しています。



建設中のマンション「ライオンズー宮グランフォート」の模型

大事にしている
SDGsのゴール



地球環境によい住まい

現在、一宮市に「ライオンズー宮グランフォート」というマンションが建設されています。一宮市では初めて「ZEH-M（ゼッチマンション）Oriented」が導入されました。

「ZEH-M Oriented」では、高い断熱性能や電力を効率よく使う機器の導入により、快適な室内環境を保ちつつ、消費エネルギーを20%以上削減することを目指します。夏は涼しく、冬は暖かい住宅にするため、断熱材や窓に工夫を凝らすことにより、通気性、断熱性を高め、光熱費の節約につながり、住む人が快適に暮らせるような家を設計しています。

さらに、マンションの四方を道路で囲むことにより、住民のプライバシーや風通し、日向を確保し、快適性を高める工夫をしています。また、生物多様性の保全を目指すために植栽計画を進めています。一宮市の木であるハナミズキや在来種のシラカシの高木などを植え、周辺に点在する緑地と繋がりながら、良好な住環境を創っていくことを目指しています。

こうした大きなマンションが一宮市に建設されると、新しく住む人が増え、結果として一宮市全体が明るくなることに繋がります。

サステナブルな住まいへの挑戦

株式会社大京の企業姿勢は、様々な方面で高く評価されています。2015年、2017年にはグッドデザイン賞を受賞。また、2018年には、日本の企業で初めて「Nearly ZEH-M」を取得しました。サステナブルな住まいを実現するために、様々な挑戦を続けています。



2030年に向けた意気込み

地球環境にやさしい住まいづくりを積極的に推進し、快適で健康な暮らしの実現と低炭素社会の実現を目指していきます。

一宮南高等学校2年2組



今回の取材を通して、マンションや住宅といった建物が市を盛り上げることに繋がると知り、環境によい建物を作るために努力していることに大変驚きました。

14. 思いやりの心を共に育む“共育”

たなばたハートクラブ



【所在地】一宮市平和2-11-3
【TEL】090-9228-8056
【URL】<https://tanabata-heart138.amebownd.com>

【事業内容】

一宮市を拠点にイベントやインターネットでヘルプマークの理解を深める活動を実施。



大事にしている
SDGsのゴール



ヘルプマークを広めるために

愛知県では2018年からヘルプマークの配布をしています。しかし、私たちがヘルプマークの知識を深めないと、ヘルプマークを見てもどんな行動をすればいいのかわかりません。あなたは、ヘルプマークの裏面に連絡先や症状、体調を崩したときにして欲しいことが書いてあることが多いのを知っていますか。たなばたハートクラブでは、イベントでの音楽・ダンスや子どもでも簡単に楽しめる神経衰弱などのゲーム、ペットボトルのキャップを溶かして入れたキーホルダーなどのハンドメイドの販売などの様々な活動で、病気や障害の当事者への理解を深める活動と共にヘルプマークの啓発活動をしています。

また、インターネット上での活動もしています。YouTubeでは2022年にインターネットラジオ「138にじいろ放送局」（通称：いちにじ）を開局し福祉の情報を発信したり、たなばたハートクラブで作った音楽の配信をしたりしています。X（旧Twitter）では、たな

ばたハートクラブが参加するイベントの情報を発信しています。さらにメールで福祉に関する悩み、体験談、意見を募集しています。

福祉のこれから

たなばたハートクラブは今、ヘルプマークを知ること、当事者の生の声を聞くこと、自分自身も様々な病気や障害をいずれ抱えるものと捉え、いざという時にどうするか考えることを目的とした、共に育む“共育プロジェクト”を立ち上げ、これを学校や企業、地域に導入することを目指しています。

社会をよくして福祉に繋げるためには、先にそこで生活する人がよい状態になる必要があります。障害や病気の当事者の目線で考え、愛情や優しさを与えることが必要で、障害や病気の人々が生活しやすい社会を作るために彼らのことを否定せずに認め合うことが大切だと、たなばたハートクラブは様々な活動で人々に伝えています。

2030年に向けた意気込み

障害や病気の当事者と健常者が共に仲良く協力しながら知恵と心を育めるようにヘルプマークを普及する基礎をつくりまします！！

一宮南高等学校2年5組



今回の取材を通して、ヘルプマークは導入するだけではなく、多くの人の理解が必要であることを知りました。

15. 人々の健康のために

株式会社 T・I・A

【所在地】一宮市森本4-7-28
【TEL】0586-26-1019
【URL】<https://hoken-tia.co.jp>
【事業内容】

損害保険代理業、生命保険の募集に関する業務、共済各種、少額短期保険会社の取次



大事にしている
SDGsのゴール



安心して暮らせるように

T・I・Aは、保険代理事業をしています。保険代理事業とは保険代理店のことであり、保険のメーカー（三井、ジブラルタ生命、アクサ生命など）のディーラーとして販売しています。お客様のニーズを聞き取り、最適な保険商品を提供しています。

また、企業理念としては「共に生き、共に栄える」を掲げ、地域社会やお客様、仲間とともに豊かな生活を大切にしていくことを目標にしています。

そして、災害が起こった際には、実際に被災地を訪問し水源を提供するなど、愛知県に限らず日本中の人々と支え合えることがT・I・Aの魅力であり強みであると言えます。

株式会社 T・I・AとSDGs

T・I・Aは4年前からSDGsに取り組み始めており、SDGsにコミットしていることこそがこの会社ならではの強みです。

主に取り組んでいるSDGsの目標は、3「すべての人に健康と福祉を」、6「安全な水とトイレを世界中に」です。具体的には、3「すべての人に健康と福祉を」では、健康経営優良法人認定サポート事業に取り組み、数多くの企業に健康意識を促しています。そして6「安全な水とトイレを世界中に」を解決するために、IZUMI-seseragi^{※1}を積極的に導入しています。また、

※1 IZUMI-seseragi：空気中の水分を集めて飲料水を生成するウォーターサーバー



代表取締役 平田浩一さん

2030年に向けた意気込み

健康への取り組み、災害に強いまちづくりを通じて、地域創生に貢献します。持続可能な未来のために、目に見える取り組みを続けていきます。

一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」10班

取り組んでいる事業や内容について伺ってお客様や被災地の方々のことを大切にしていると感じました。また、災害や事故にあった時のために事前に準備することが大切だと感じました。

16. 防災製品の生産で住宅火災を減らす

T・Sトレーディング株式会社

【所在地】一宮市花池3-13-15

【TEL】0586-43-0541

【URL】<https://ts-trading.net>



大事にしている
SDGsのゴール



住宅火災を減らすために

T・Sトレーディングは、住宅火災の予防、そして安心安全に住み続けられる暮らしづくりに力を入れている企業です。

また、『MOENCA』『MOENAIN』という燃えにくい素材を使ったオリジナルブランドがあります。『MOENCA』はリビング用品や布団、マットレス、台所用品などの寝装具や家具雑貨の、『MOENAIN』はエプロンやTシャツ、カーディガンなどのアパレル製品のブランドです。燃えやすい繊維の性質改良に加えて、燃えにくくした繊維素材で作った製品を生産しています。難燃の糸から作る製品は防災加工品とは違い、何度洗濯しても性能が落ちません。また、人体に毒性のない原料を使用した製品を認定しており、安心して使えます。



住み続けられるまちづくり

SDGsの理念を意識し、いつもの生活空間に少しでも燃えにくい製品を広げていきたいという思いから、目標11の『住み続けられるまちづくりを』に特に力を入れています。難燃製品で住宅火災を未然に防いだり、被害を少しでも抑えられたりするだけでなく、快適で安全な住環境を提供していきたいと考えているそうです。

2030年に向けた意気込み

『住宅火災をゼロにする』取組みを全国に広めるためにまず、防災・難燃製品の認知度を高めていきます。そして全国で300人の人に紹介代理店になってもらい、よりよい未来の実現に貢献していきます。

一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」1班

住宅火災を減らしていくために防災製品を世界に広げていきたいという熱い思いが伝わってきました。

17. モノづくりIoT化による現場の見える化と作業の標準化

株式会社 ティエムエフ

【所在地】 一宮市三ツ井5-18-5

【TEL】 0586-81-0814

【URL】 <http://www.tmf-1995.co.jp/>



大事にしている
SDGsのゴール



作業の効率化に貢献

ティエムエフは、自動車や家電業界を中心に高性能テープやフィルムの打ち抜き加工品を、「高品質・低価格」をモットーに製造しています。また「まじめモード（寸法誤差・ロス率を限りなく0に近づける）」「スマイルモード（アットホームな社風は社員の笑顔100%）」という数値を対比させた目標も掲げています。

「まじめモード」実現のために、現場の「見える化」、作業の「標準化」、基準の「統一化」で高品質・低価格に取り組み、寸法誤差・ロス率は全体の0.1%ほどまで低減しました。「スマイルモード」の実現には、相手が喜ぶことを探すということを創業当時から力を入れています。

SDGsへの取り組み

ティエムエフは、コロナ禍の2020年10月頃から、会社の存続や、従業員・取引先・お客様のためにSDGsの取り組みを開始しました。

主な取り組みとしては4つあります。1つ目は生産性の向上と安定供給による労働時間の短縮です。自社開発の生産管理システムで計画と実績を「見える化」することで従業員の意

2030年に向けた意気込み

今まで数値化できていなかったものを数値化、現状の数値をよりよくしていきたいと考えております。また、来期から具体的に取り組みを本格化し、SDGsの目標12「つくる責任・つかう責任」に絞り、カーボンニュートラルにすることや再生可能エネルギーを取り入れていきます。

識革新を促し、生産性が向上しました。2つ目は男女・年齢問わず平等で働きやすい職場にすることです。女性社員を新たに5名採用し、社員の女性比率は約78%と同業の会社より約30%多くなりました。3つ目は新人教育と一緒に教育訓練を実施することです。それにより、プロジェクトによる教育と技術の承継を行っています。4つ目は産業廃棄物を減らすことです。廃材を活用した商品の開発プロジェクトを立ち上げ、自らSDGsに関する商品を企画することで身近にSDGsを感じる意識改革にも繋がります。

こうしたSDGsの取り組みは、会社の事業との整合性を外部に説明することや、安全面も考慮する必要があるため難しく大変です。しかし、取り組んだことで、多方面に有効な商品の製造、様々な企業に認知してもらう機会ができる、従業員もSDGsの理解が深まる等のメリットがありました。現在の課題は、SDGsの取り組みに参加できる人員・時間が足りないことです。そのため、さらに会社全体でSDGsに取り組める仕組みづくりを行う予定です。



一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」3班

今回の取材を通して、SDGsの取り組みは環境問題・貧困問題等を直接的に解決するものだけでなく、会社の効率化や働きやすさに繋がることが分かりました。



18. 命を守り、健康になる家

東陽住建株式会社

【所在地】一宮市森本2-2-12
【TEL】0586-73-3008
【URL】<https://www.toyo-ie.jp>



大事にしている
SDGsのゴール



今の森を未来に

東陽住建は、東濃ひのきを使用した住宅を手の届きやすい価格で販売しています。

また、SDGsの「陸の豊かさを守ろう」や「つくる責任 つかう責任」に繋がる持続可能な森林育成、保護を行っています。

その取組みの一つが『ひのき3,000本プロジェクト』です。これは、東濃ひのきの家を建てるご契約をされたお客様の家の柱すべてを無償で提供するというもので、この活動を通して“東濃ひのきの良さを知ってもらう”、“森を循環させるために木を使用する”その二つの思いから、実施しています。



一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」8班

今回の取材を通して東陽住建様はただ家を作るだけでなく、地域に寄り添いながら、SDGsに基づいた取組みを行っていることが分かりました。社長の家づくりに対する、“命を守り健康になる家”という思いに感銘を受けました。これからもこだわりの家を作り続けてほしいです。

“家”という資産をどう残すか



東陽住建は、耐震シェルター工法で住宅を建設しており、従来の木造住宅よりも空間を持たせることが可能です。

そして、通常の木造住宅よりも7.5倍以上強い家になっています。この“長く、安全に、安心して住める家”が、東陽住建の特長です。これは、SDGsの目標である「住み続けられるまちづくりを」に繋がっています。

今後、新しく行っていきたい取組みに、“何にも活用できず無駄になってしまう空き家を減らしていく”というものがあります。家がリフォームしづらいと買い手がつかないことが多く、このことが原因で空き家が増加しています。これに対し、東陽住建は多様な生活スタイルに合わせられるリフォームが可能な家を作っていくことを目標にしています。

2030年に向けた意気込み

木を使う文化を当たり前にし、プランターでひのきの苗を育て、優良な資産を未来に残します。

19. 省エネで持続可能な建築

Huney Hunt 株式会社

【所在地】一宮市今伊勢町馬寄字舟入1-1
コープ野村B棟507号
【TEL】0586-85-8316
【URL】<https://km-plan.jp>



大事にしているSDGsのゴール



会社概要

Huney Hunt 株式会社は、地域に根ざした工務店として、一宮市近隣の、新築・リフォーム・リノベーション・エクステリアに関する相談にオールマイティに対応しています。「新築を作らず愛家を作ろう。」をコンセプトに「お客様目線」を重視し、「家がある楽しさ」を売っています。

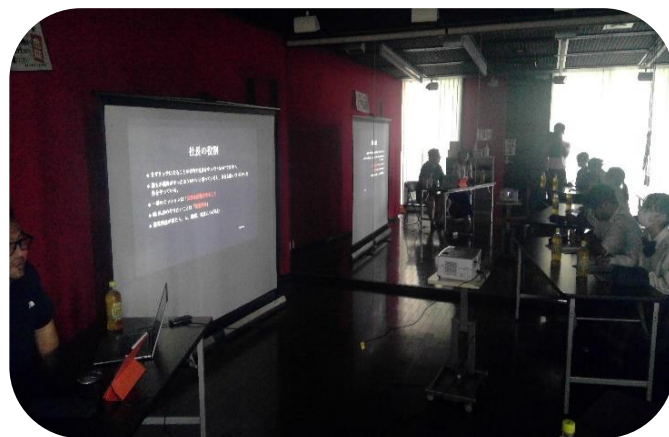
断がしっかりできるように、そして、自分がやりたいことを口にできるように育成することを目標に取り組んでいるそうです。

一宮市で生まれた人が外部に職を求めず、一宮で成長することが最大のSDGsなのではないかと考えているそうです。



堀野さん

代表取締役



2030年に向けた意気込み

会社を前進させていきたいです。新潟県に米を保存する倉庫を造りましたが、これを他の地域にも広げていきたいと考えています。

また、建築のプロであり続けることでHuney Hunt株式会社が建築業界の中心となることを目指していきたいです。

省エネで人を守る建築

Huney Hunt 株式会社は、平成25年から主に省エネに取り組んでおり、使用するエネルギーを3分の1まで削減することに成功しています。また、10年以上前から取り組んでいる経験から、物理現象と対峙しない持続可能な建築物を作るための計算ができるようになり、その結果、自然災害に強い、人を守る建築もできるようになったそうです。

人材育成にも力を入れています。自分で決

一宮商業高等学校2年「コマーシャルデザイン」9班



今回の取材を通して、建築業界でのSDGsへの取組みは住む人を守ることも繋がり、とても重要なことであると実感しました。

20. 美容を通して一宮市の貧困を少なくし、ジェンダー平等を

POLA THE BEAUTY ASTY 一宮店

【所在地】一宮市栄3-1-2 アスティー宮
【TEL】0586-82-6608
【URL】<https://www.pola.co.jp>



大事にしている
SDGsのゴール



POLAは、化粧品販売やエステを提供しています。全国に約2,800店舗展開し、“POLA”という誰もが知っているブランド名で安心感を与えています。

AI診断から自分に合ったエステを選択することができ、数値が目に見えてわかるので詳しく自分の肌の事を知ることができます。肌問題やスキンケアなどの悩みをスタッフさんが親身に話を聞いてくれるので、定期的に通う場合でも安心です。

SDGsの理念から、愛知県の中で一宮市の貧困率が高い課題や、女性の利用者が多いことを踏まえ、男性の利用も増えるようにジェン



ダー平等も意識しています。例えば肌診断（APEX）は当初は女性専用でしたが、今は男性も診断が可能になりました。その結果、男性のお客様も増えジェンダー平等が一宮市内にも広がってきています。他にも化粧品などを発送する際に使う梱包は環境に配慮したものを使用しています。

2030年に向けた意気込み

一宮市の貧困率が愛知県の中でワースト2位という事実を受け、男女関係なく化粧品を通して心を豊かにしていくことが目標です。病気や傷がある人への施術や高齢者へのマッサージ、エステなど歳の壁を超えてどなたでも来店しやすいお店作りをしていきます。

一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」6班

今回POLA様に取材を受けていただき、エステを通してお客様をきれいにする事で達成感を得られる素敵な仕事だなと思いました。お客様の事を考え、上質で、なおかつ環境にも優しい梱包にこだわっていてSDGsへの意識の高さが実感できました。スタッフの方たちも美意識が高くお客様も安心して施術をお願いできると思いました。

21. 仕事も地域も大切に

水政建設株式会社

【所在地】一宮市祐久字池田5
【TEL】0586-68-0759
【URL】<http://mizumasa.iinaa.net>
【事業内容】

住宅店舗設計施工やリフォーム、不動産売買の仲介など、住まいに関する様々なサービスを行っています。



定期的に行われているオープンガーデンの様子

大事にしている
SDGsのゴール



地域の繋がりを大切に

水政建設では、「お一人お一人のお客様との出会いを大切に。私達が出来る仕事を着実に誠実に。」を企業理念として、住まいに関する幅広い問題に対応しています。一級建築士の資格を持った専門家の方に相談でき、不動産や住まいについてあまり知識がない人が相談しやすいのも特徴の一つです。さらに、建築士だけでなく、司法書士や弁護士など各分野の提携する専門家が揃っているため、建築だけでなく不動産や相続についても安心して任せることができます。

また、社会貢献としてさまざまな取り組みを行っており、オープンガーデンを開催して来場者の皆さんの心が癒される空間を提供したり、慣れ親しんだ地域の道路を愛着を持って清掃・美化活動を行う一宮市アダプトプログラムの活動を行ってたりしています。他にも、取締役の水谷さんは、地域の主任児童委員であり、「子ども110番の家」として、いざというときに子どもが逃げ込んで助けを求

められるようにするなど、子ども達の見守りもしています。

これらの活動が認められ、水政建設は地域に貢献している企業・事業者が認定される一宮市地域貢献企業（一宮市サポートカンパニー）に認定されています。

性別、国籍を超えた手厚い対応

水政建設は、専門家団体「尾張活性会」の行政書士や税理士、土地家屋調査士など、さまざまな分野の専門家と連携しており、それらをまとめている水谷さんが、女性目線で些細なことでも対応しています。

また、外国の方も利用しており、性別や国籍に関係なく、丁寧な対応を心がけています。

2030年に向けた意気込み

現在10戸中1戸の空き家がありますが、2030年には10戸中3戸（住宅の30%）が空き家になってしまうと予想されています。空き家問題の解決力を高め、より皆様のお役に立ちたいと思っています。



一宮南高等学校2年3組



今回の取材を通して、企業の内容だけでなく、将来に関する話も聞くことができ、自分の視野が広がりました。

22. 板金・LED事業とSDGsで地域を支える

株式会社 UT工業

【所在地】一宮市時之島字塚北26-2
【TEL】0586-64-7316
【URL】<https://ut-next.com/corporate/>



大事にしている
SDGsのゴール



長く使える製品で地域に貢献

UT工業は、金属板を加工して屋根や外壁といった外壁工事を行う板金事業や、軽くて薄いガラスに張り付けられるLED、節電が可能なセンサーライトなどを製造するLED事業を行っています。

UT工業の敷地にはリサイクルボックス「エコキューブ」が設置されており、作業効率の上昇といったメリットがあるだけでなく、地域の人と繋がる役割も果たしています。

エコキューブの設置により、地域の方が資源のリサイクルをすることが容易になり、地域の助けになっています。

インタビューに答えていただいたUT工業の那須智彦さんは、「地域の方の助かるという声を聞いて、やってよかったと思った」とおっしゃっていました。また、那須さんはパラスポーツを行っており、小学校などで講師を務めることもあるそうです。こうしたリサイクルや交流によって、地域と密接に繋がる取り組みを行っています。

SDGsへの取り組み

UT工業はすべてのSDGsに取り組んでいます。



任意のサイズでカスタマイズされたLEDディスプレイ



例えば、壁や天井をガラス張りにすることによって太陽の光を室内に取り込む節電や、余った木材で作業台を作ったり、リサイクルできない紙を、鉄を切るハサミの練習に使用するなどの資源の再利用、ほかにもエコキャップ運動や障害者支援、地域の方も使えるエコキューブの設置など、様々な取り組みを行っています。

2030年に向けた意気込み

7年先のことを考えるのはとても難しいですが、現在行っていることの結果を出し、継続して続けていくことが目標です。

その過程でもっと新しくできることもあるのではないかと思います。

一宮商業高等学校2年「コマーシャルデザイン」4班




今回の取材を通して、地域や社会に貢献するためにできることが小さなことでもたくさんあることを実感しました。

一宮市SDGsパートナー制度とは？

一宮市でSDGsの達成に向けて取り組む、または取り組む予定の企業・団体等を「**パートナー**」として登録し、パートナーの課題解決や新たな事業展開のきっかけとして、パートナー同士の交流や連携を促進するイベントを開催しています。

「SDGs」を共通のキーワードとして、異業種間交流を深め、一宮市を魅力的なまちにしていきたいと思います！！



メリット	<ul style="list-style-type: none">★パートナーの取組を市のウェブページで紹介します★パートナー同士の情報・意見交換のための交流の場をつくります★パートナーとの連携により、課題解決や新たな事業展開に繋がります★一宮市オリジナルSDGsロゴマークをご活用いただけます など
申請方法	<p>一宮市ウェブページ「一宮市SDGsパートナー制度」にて要綱や登録申請書などを掲載しています。</p> <p>申込フォームから申請していただくか、申請書に必要事項を記入の上、一宮市政策課にメールにてご提出ください。</p> 

これまでに開催したイベントや本制度の詳細はこちらから

インターネットで「一宮市 SDGs」や「一宮市SDGsパートナー制度」と検索してみてください！！



一宮市 × SDGs



発行 一宮市総合政策部政策課（2024年2月発行）
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL:0586-28-8952 E-mail:seisaku@city.ichinomiya.lg.jp

取材指導 株式会社アイ・シー・シー／株式会社ケイ・クリエイト

取材 愛知県立一宮商業高等学校／愛知県立一宮南高等学校

※本誌に掲載されている記事・写真等の無断掲載、複製、転載を固く禁じます。